

アスファルトフィニッシャ HA60W-11/HA60C-11

Asphalt Paver HA60W-11/HA60C-11



欧州で販売している中型アスファルトフィニッシャのクローラ式HA60C-11と、ホイール式HA60W-11を新たに日本国内でも展開することとなったのでここに紹介する。

本アスファルトフィニッシャは、日本国内で評価を得ているHA60W-10をベースとして顧客要望に対応するかたちで改善を図った。

特 長

(1) 輸送性の改善(ホイール式HA60W-11)

当社独自の3連スクリードである「J・Paver2360」は、他社にない伸縮性を有する反面、スクリードが3連となるため構造上どうしても全長が長くなるという課題があった。

そこで、本機ではホッパ高さとウェイト形状を見直し、従来機に比べて300mm全長を短くして輸送性の改善を図った。

(2) 電気加熱時の舗装能力制限の解消

(ホイール式HA60W-11、クローラ式HA60C-11)

従来の発電システムはコンベヤ、スクリュ用ポンプから作動油を供給し、油圧モータで発電機を作動させていた。そのため電気加熱時に発電機を稼働させる場合は、能力がそちらに分散されコンベヤ、スクリュの能力を落とさざるを得なかった。新アスファルトフィニッシャでは、従来機より20%出力アップした新規エンジンと発電機専用のポンプを搭載し、独立した回路にすることにより本来の舗装能力を落とすことなく発電できるようにした。

(3) 作業性、機能性の改善(ホイール式HA60W-11)

① 折り畳みリテーニングプレート

従来のホイール用リテーニングプレートは、取り外し式または内側のみスライド式が採用されてきたが、取り外し式は脱着の煩わしさ、スライド式には合材が固着すると引き出せないといった問題があった。本機においては、内側1段目のみを折り畳み式、外側の2段目は脱着式とし、サポートを追加することにより段取り作業の利便性向上を図った。

② ブレーキステアならびにデフロック

本機の走行システムには、ブレーキステアに加えて、デフロックシステムを装備している。

ホイール式は、前輪切れ角の制限から通常の回転半径が7mと大きい。それに対してブレーキステアは、低速モード時に内側後輪の走行モータのブレーキをかけることにより3.5mという小旋回が可能となる。

また、ホイール式の走行システムは、前輪・後輪ともに1ポンプ・2モータ方式であることから、たとえば軟弱路盤などでは片側が空転した場合、負荷の軽い空転側に油が流れて機械はスタックを起こす。デフロックシステムは、フローデバイダにより左右後車輪モータおよび前輪モータへ流入する作動油の量を左右ほぼ均等に供給できる。このシステムにより軟弱路盤などで車輪の片側が空転してしまうような場合でも、逆側の車輪モータへ作動油が供給され有効な牽引力を得ることができる。

※「J・Paver」は、住友建機株式会社の登録商標です。

(住友建機株式会社 溜池 晃志)